

「2023 輝く県民活躍大賞」受賞団体及び活動

1 受賞団体、活動

※部門毎五十音順

■ジュニア・ユース部門

団体	大石田町高校生ボランティアサークル 二十四孝 PART II 【大石田町】
活動	高校生による地域づくりボランティア活動
団体	大江町ボランティアサークル「夢憧布（ぽけっと）」【大江町】
活動	中高生による地域貢献活動
団体	防犯・交通米沢少年隊【米沢市】
活動	中学生による防犯・交通安全ボランティア活動

■若者部門

団体	おぐに移住者コミュニティつむぐ【小国町】
活動	移住者を中心としたコミュニティによる地域活性化
団体	山形県立保健医療大学 花笠サークル 花の会【山形市】
活動	医療機関や福祉施設での花笠踊りの披露及び伝統芸能の発信
団体	山形大学花笠サークル 四面楚歌【山形市】
活動	花笠の演舞による地域文化の振興と演舞普及による次世代への文化継承

■一般社会貢献部門

団体	大石田まつりを10倍楽しくする会【大石田町】
活動	大石田まつり「維新祭」による地域活性化
団体	一般社団法人 ドリームやまがた里山プロジェクト【山形市】
活動	自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築と創出
団体	特定非営利活動法人 最上川リバーツーリズムネットワーク【長井市】
活動	ゴムボートを活用したダム観光の推進と交流人口の拡大 (絶景・三淵溪谷通り抜け参拝)

2 団体、活動の概要

■ ジュニア・ユース部門（3件）

受賞団体	大石田町高校生ボランティアサークル 二十四孝PART II		
所在地	大石田町	会員数	15人（全員高校生）
代表者	会長 稲垣 美里(いながき みさと)		
受賞活動	高校生による地域づくりボランティア活動		
活動地域	大石田町内		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生同士の交流と町への地域貢献を目的に昭和61年から活動 ・大石田まつり前夜祭で、浴衣で踊る「ゆかたde花笠」を参加募集及び開催運営を自ら行い、高校生等の踊り手を100人集め盛上げに貢献 ・街歩きガイド等をNPOと協働で実施し、地域活性化に寄与 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちだけではできなくても他団体と協力すればできる」をモットーに、他団体との連携を積極的に実施している活動 		

受賞団体	大江町ボランティアサークル「夢憧布（ぼけっと）」		
所在地	大江町	会員数	32人（全員中高生）
代表者	代表 鈴木 星矢(すずき せいや)		
受賞活動	中高生による地域貢献活動		
活動地域	大江町内、西村山地域		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が自らできることで町に貢献したいと約45年活動を継続 ・毎年、お盆の花火大会の翌日に清掃活動を実施 ・コロナ禍において、医療従事者へのメッセージポスターの作成・贈呈や、地元公民館にイルミネーション展示で町民に活力を付与 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域を元気にするために自分たちができることのアイディアを出して実行し、地域活性化に貢献している活動 		

受賞団体	防犯・交通米沢少年隊		
所在地	米沢市	会員数	52人（全員中学生）
代表者	隊長 土屋 裕友夢(つちや ゆゆめ)		
受賞活動	中学生による防犯・交通安全ボランティア活動		
活動地域	米沢市内		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が社会の一員として自らの規範意識を高めることを目的に発足 ・関係団体等と協働し、ポスターやのぼり旗等を隊員自ら企画・製作し、地域のイベントで啓発活動を実施 ・米沢特産のリンゴに「詐欺注意」の文字を入れ金融機関で注意喚起 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が主体的に防犯や交通安全に取り組んでおり、中学校や警察など関係機関としっかり連携しながら実施している活動 		

■ 若者部門（3件）

受賞団体	おぐに移住者コミュニティつむぐ		
所在地	小国町	会員数	90人（うち若者80人）
代表者	代表 舟山 康名（ふなやま やすな）		
受賞活動	移住者を中心としたコミュニティによる地域活性化		
活動地域	小国町内		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・移住後の交流機会が少なく、「自分のように孤独を感じる移住者を減らしたい」と、移住者コミュニティを創設 ・現在、町外者も加入し緩やかなコミュニティに発展しており、SDGsをテーマにしたマルシェや移住者の歓迎会等のイベントを開催 ・SNSを活用し、衣類や農作物等のお譲り情報を共有するなど交流を深化 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・移住者と地域を繋げることで、コミュニティに対する当事者意識を高め、地域の活性化に貢献している活動 		

受賞団体	山形県立保健医療大学 花笠サークル 花の会		
所在地	山形市	会員数	99人（全員若者）
代表者	サークル長 任田 陽香（とうだ はるか）		
受賞活動	医療機関や福祉施設での花笠踊りの披露及び伝統芸能の発信		
活動地域	山形県内、その他		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の伝統芸能である花笠踊りによる仲間づくりや社会貢献を目的に平成10年から活動 ・県内各地の花笠まつりへの参加のほか、県内の福祉施設や医療機関の夏祭り等で演舞を披露し、観覧者へ元気を付与 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・花笠踊りを通して地域の活性化や、福祉施設や医療機関の入所者、従事者に活力をもたらす活動 		

受賞団体	山形大学花笠サークル 四面楚歌		
所在地	山形市	会員数	166人（全員若者）
代表者	会長 元木 美歩（もとき みほ）		
受賞活動	花笠の演舞による地域文化の振興と演舞普及による次世代への文化継承		
活動地域	山形県内、その他		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が気軽に花笠を踊れる場所を作りたいと平成15年に発足 ・県内外の大小様々なイベントにおいて演舞を披露 ・小学生や高校生への演舞指導の依頼も多く、地域の方との交流を大切に、積極的に依頼を受け文化伝承を推進 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・大小様々なイベントに参加し地域文化を発信するとともに、踊りの指導による次世代への文化継承で地域貢献している活動 ・広報から演舞依頼の受付・調整、実施まで全て学生が主体的に実施している活動 		

■ 一般社会貢献部門（3件）

受賞団体	大石田まつりを10倍楽しくする会		
所在地	大石田町	会員数	20名
代表者	代表 青木 安茂（あおき やすしげ）		
受賞活動	大石田まつり「維新祭」による地域活性化		
活動地域	大石田町内		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「大石田まつりをもっと盛り上げたい」と町民有志が平成12年から活動し、大石田まつり前夜祭である「維新祭」を開催 ・「つねに新しく」をモットーに、現在は町内外の20超の団体が参加し、迫力と熱気あふれる“太鼓と踊りの共演”を実施 ・現代風アレンジした花笠踊りや、舟運文化を阿波踊りで表現した踊りを創作 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・維新祭を企画・運営し、伝統芸能を活かしつつ新しさ・楽しさを加え、地域に活力と賑わいをもたらしている活動 		

受賞団体	一般社団法人 ドリームやまがた里山プロジェクト		
所在地	山形市	会員数	22人
代表者	代表理事 小谷 卓（こたに たかし）		
受賞活動	自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築と創出		
活動地域	山形県内の海岸及び海水浴場 （鶴岡市鼠ヶ関、酒田市宮海、遊佐町西浜、釜磯）		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者でも、海で楽しむ、砂浜に降りる、という体験ができるよう海水浴場のバリアフリービーチを構想 ・県内2箇所の海水浴場にて、自動車の廃材を活用した車いす用スロープの整備や、ゴムマットを設置 ・今年はバリアフリーイベントを7回開催し約530名が参加 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者と健常者が一緒に海を楽しめる新しい取り組みであり、自動車廃材の新たなリサイクルの方向性も示した活動 		

受賞団体	特定非営利活動法人 最上川リバーツーリズムネットワーク		
所在地	長井市	会員数	9名
代表者	代表理事 佐藤 五郎（さとう ごろう）		
受賞活動	ゴムボートを活用したダム観光の推進と交流人口の拡大 （絶景・三淵渓谷通り抜け参拝）		
活動地域	最上川流域（特に長井ダム湖）		
活動内容、 評価の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・最上川の地域資源を活用し、流域住民・旅行者にとって魅力的な「最上川リバーツーリズム」を実現するため、長井ダム観光の実践を開始 ・様々な検証や関係機関との調整を経て、協働体制を構築し、平成26年8月にボートによる「三淵渓谷通り抜け参拝」ツアーを開始 ・その神秘的な景観に人気が高まり、国内外からの参加者が増加し、地域の魅力発信や交流人口の拡大に寄与 【評価ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・本県の強みである景観資源を活かした、先駆性・独創性のある取り組みで地域に変化をもたらした活動 		